

鏡山ハイキング報告書

実施日 平成29年6月1日(木)

集合場所 JR 野洲駅改札口

集合時間 9時45分

参加者 14名 (浅野、乾、大石、上條、莊村、中西、秦、藤本、藤井、万井、杵三、山下、山本、倭)

前夜の大雨が気になったが朝から文句なしの晴天 少々暑さでバテるかも・・・

野洲駅から、全員遅れることなくバスに乗車。地方のバスにしては若い人の乗客が多く不思議な気がしましたが三井アウトレットで働く社員の方だと後で分かりました。

鏡山登山口駅で降車。

まずは竜王町の歴史の森散策道ルートマップの看板前で琵琶湖に注ぐ日野川と合流する善光寺川の源流域である鏡山の説明を杵三氏より受け、いざ出発！ 途中ガンピの木を発見 初めて聞く名前です。別名はカミノキとも呼ばれ奈良時代から製紙原料として用いられています雁皮紙として重用され昔はガンピの採取は年寄りの小遣い稼ぎだったそう・・・

因みに富山県では模造紙のことを雁皮と言うそうです。『一つの植物にも色々な特質やそれに伴う物語があるものだ』と、知ると面白い観察をしながら歩を進めると美しい水面を湛えた大谷池に到着。



杵三氏が下見に来た時は静かで不気味な雰囲気だったとのことでしたが、今日は賑やかな面々が静かな雰囲気を変えていました???

日照りが続くと言われ山頂まで登ったと言われる途中の、雨乞い休み場の標識を後に、こんめ岩、貴船神社を通過、展望の広場の展望台に上がるも木が伸びて全く展望が利きません。

階段の多い山道をのぼり11:45山頂へ。いつものように記念写真を



昼食を終えた山頂近くには

聖徳太子が26歳の時(600)に自ら観音像を彫られ創建された雲冠寺(うんかんじ)跡を通過

滑りやすい道に神経を使いながら下りきったところ、目の前に拓けた黄土色の広場にビックリ!

干上がった池は鳴谷池 辛うじて水の残っているところには小さな魚がたくさんいて、放り投げたお菓子を我先に、と群がる姿には生命の力を感しました。

下りはなだらかな道でゆっくりと植物観察をしながら帰途に着き

三井アウトレット前からバスに揺られJR野洲駅に到着

14:30 解散 楽しいハイキングでした。皆様お疲れ様でした。

記録 藤井